

6月の札幌は、湿度が低く、快適な気候です。日頃の練習の成果を発揮して、大会後は札幌観光や北海道グルメを満喫してください！皆さんの参加をお待ちしております。

■ 日 程 2026年6月7日（日）

- 会 場 札幌市平岸プール 【公認 25m×8レーン×2面】  
〒062-0935 北海道札幌市豊平区平岸5条14-1-1  
\*バックプレート付スタート台：使用する（B面実施の800・1500m自由形は使用なし）  
\*バックストロークレッジ：使用する  
\*常時アッププール：あり \*入場制限：なし（応援・観覧入場可）

- 交通手段 札幌市営地下鉄南北線「南平岸」駅より徒歩5分 駐車場（無）

- 定 員 設けない

- 競技役員規定 参加者10～19名：1名、20～29名：2名、30名以上：3名

- 競技順序 (A面・B面同時進行で競技を行う)

<A面>

1)	100m	個人メドレー	11)	25m	バタフライ	21)	200m	個人メドレー
2)	100m	自由形	12)	4×50m	メト <sup>レ</sup> フリー	22)	200m	自由形
3)	100m	平泳ぎ	13)	4×100m	メト <sup>レ</sup> フリー	23)	200m	平泳ぎ
4)	100m	背泳ぎ	14)	400m	自由形	24)	200m	背泳ぎ
5)	100m	バタフライ	15)	50m	自由形	25)	200m	バタフライ
6)	4×100m	混合メト <sup>レ</sup> フリー	16)	50m	平泳ぎ	26)	4×50m	フリーリレー
7)	4×25m	混合メト <sup>レ</sup> フリー	17)	50m	背泳ぎ	27)	4×100m	フリーリレー
8)	25m	自由形	18)	50m	バタフライ			
9)	25m	平泳ぎ	19)	4×100m	混合フリーリレー			
10)	25m	背泳ぎ	20)	4×25m	混合フリーリレー			

<B面>

28)	800m	自由形
29)	1500m	自由形

※ 800m・1500m自由形は別途申込規定あり。38ページ参照

- 申込料 個人種目 200m以下 2,000円/種目 プログラム 1,000円/部  
400m 4,000円/種目 ランキング 2,000円/部  
800m 5,000円/種目  
1500m 6,000円/種目  
リレー種目 4×50m以下 3,000円/種目  
4×100m 4,000円/種目

- エントリー A. ホームページのみ 2026年3月3日（火）0：00～4月17日（金）16：00  
※ 事前入力 2026年3月1日（日）0：00～

- 入金方法 \* エントリー申請前にチームでまとめて下記の口座へ支払うこと（申請時に入金日を入力）  
ゆうちょ銀行  
口座記号番号：02720-9-1911 加入者名：（財）北海道水泳連盟  
※ 他の金融機関から  
店番/店名：279/二七九店（ニナナキュウ） 口座番号：当座 0001911  
振込名義人名は必ず「チームID+チーム名」とし、個人名での振り込みはおやめください

- 問 合 先 一般財団法人北海道水泳連盟 競技（マスターズ）委員会 渡辺 和彦  
TEL：011-820-1684（火～金 10：00～17：00） FAX：011-820-1685  
E-mail：kazu11\_watanabe@yahoo.co.jp ホームページ <https://hokkaido-swim.com/>  
※ 問い合わせはメールでお願いします。

# 2026 年度日本マスタース水泳短水路大会 北海道（札幌）会場

## 800m・1500m自由形出場規定

### 1. 出場規定

- ⑤ 800m・1500m自由形は、1 名につきどちらか 1 種目に限らせていただきます。
- ⑥ 帯同計時員は必要ありません。
- ⑦ 競技は、A 面・B 面の 2 面で同時進行で開催されます。競技時間に関しては、2 次要項でご案内します。
- ⑧ 競技進行上および安全上、参加人数ならびに出場制限タイムを下記のとおりとします。  
出場者は先着順にて締め切ります。

参加人数	女子	男子
800m自由形	32 名	32 名
1500m自由形	24 名	24 名

出場制限タイム	55 歳区分以下	60 歳区分以上
800m自由形	20 分 00 秒まで	21 分 00 秒まで
1500m自由形	40 分 00 秒まで	42 分 00 秒まで

※ 80 歳区分以上は出場制限タイムなし

- ⑨ 出場制限タイムをオーバーした場合はタイムオーバーとし、ランキングより除外します。  
ただし、記録は公認します。

エントリータイムより大きな誤差で泳ぎ、競技進行上支障をきたすと審判長が判断した場合はレース中でもその泳者の競技を中止する場合があります。